

▼バルデナフィル錠 [内]

【重要度】★★【透析患者に投与禁忌】 【一般製剤名】バルデナフィル塩酸塩水和物 (U) Vardenafil Hydrochloride Hydrate 【分類】勃起不全治療剤 [PDE5 阻害剤]

【単位】▼5mg・▼10mg・▼20mg/錠

【常用量】1回10mg■65歳以上の高齢者、中等度の肝障害のある患者は5mgから開始して最大10mg

【用法】性行為の約1時間前に服用 [投与間隔24時間以上]

【透析患者への投与方法】禁忌 (1)

【保存期 CKD 患者への投与方法】減量の必要なし (1) 【その他の報告】Ccr 50mL/min 未満でAUCが20~30%大きくなる (U)

【特徴】PDE5の選択的阻害剤。レビトラは販売中止

【主な副作用・毒性】ほてり、頭痛、鼻閉、心悸亢進、低血圧、狭心症、心筋梗塞、頭痛、めまい、呼吸困難、QT延長、視力障害、消化器症状など

【吸収】食事の影響を受けない (1)

【F】15% (U) 高脂肪食で18~50% (U) 14.5% (1)

【tmax】0.75hr (1) 0.5~2hr (U)

【代謝】肝 [約80%がCYP3A4で代謝] 及び小腸 (1) CYP3A4, 3A5, 2Cで代謝され脱エチル化体のM-1となり、さらに代謝される (U) 主にCYP3A4によって生成するM-1は未変化体血中濃度の26%の割合で存在し、活性への寄与は7% (U) M-1はPDE5阻害活性を未変化体の28%有する (U) 肝障害時にはCmaxが1.3倍に、AUCが1.6倍に上昇する (U)

【排泄】糞中92.5%、尿中4.89% [168hrまで] (1) 糞便中91~95%、尿中2~6% (U) 【CL】56L/hr (U)

【t1/2】3.2~5.3hr (1) 4~5hr (U) 【高齢者のPK】65歳以上の高齢男性は18~45歳の男性に比べ、Cmaxが34%、AUCが52%高値となる (U)

【蛋白結合率】95% [主にAlb] (1,U)

【Vd】208L/man (U) 精液移行はわずか (U)

【MW】579.11

【透析性】除去されない (1)

【O/W係数】log P=0.0 [1-オクタノール/水], Log P=3.2 [1-オクタノール/リン酸buffer, pH7] (1)

【相互作用】CYP3A4阻害剤との併用により血中濃度上昇 (1) α遮断薬投与例では低血圧を防ぐため5mgから開始 (1)

【更新日】20230906

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。